

A decorative graphic on the left side of the slide, consisting of overlapping colored squares (blue, red, yellow) and a black crosshair.

原子力産業の国際展開

衆議院外務委員会

平成23年8月24日

(社)日本原子力産業協会 理事長

服部 拓也

福島事故後の世界の動き

- **安全性確認**(**運転継続を前提として既設炉の安全性確認**)
 - IAEA・・・閣僚級会合で原発の安全基準の強化で合意
 - EU(14カ国、143基)・・・ストレステストを実施中
 - 米国、露ほか・・・独自に自国内プラントの安全性確認中
- **原子力政策**
 - **先進国**(米、仏、英など)、**新興国**(露、中、印など)、および**新規導入国**(UAE、ベトナム、トルコ、サウジアラビア、ヨルダン、ポーランドなど)は**引き続き原子力開発推進政策を維持**
 - 但し、一部の国は**脱原子力政策を決定**
独(2022年までに停止)、伊(導入計画を見直し)、およびスイス(2034年までに停止)

日本に対する世界の期待

- **福島事故対応**
 - 事故関連情報の提供と事故の収束
 - 教訓の共有と**最高水準の安全性確保対策の実施**
- **新規導入国を中心に、日本の技術力とノウハウの提供**
 - 高品質、高信頼度の**機器の供給能力**
 - **耐震設計技術**
 - **プロジェクト・マネジメント**(on time, within budget)
 - **運転・保守技術支援**
 - **人材育成、法規制整備、PAなどの基盤整備支援**

国際展開の意義

- **世界への貢献**
 - エネルギー安定供給
 - 地球温暖化対策
 - 地域の持続的発展と安定
 - 核不拡散体制の維持・強化
 - 原子力安全(世界最高水準の安全性を有する炉の提供)
- **我が国としての意義**
 - 国内産業の発展(雇用の確保、産業空洞化防止)
 - 技術力の維持・向上
 - 人材の確保・育成
 - 運転経験の蓄積、運用システムのグローバル化

産業界の取り組み

■ 基本的考え方

- 3S(核不拡散、原子力安全、核セキュリティ)の確保
- システム輸出(ハードとソフトのパッケージを提供)
- 産業界(メーカー、電力、ゼネコンほか)として**一体的な取り組み**

■ これまでの実績(ベトナムの例)

- 人材育成、法規制整備、PAなどの**基盤整備の支援**
(研修生受け入れ、専門家派遣、セミナー・展示会実施など)
- フィージビリティ・スタディー(FS)実施支援
- **体制の整備**
(JICC:原子力国際協力センター、JINED:国際原子力開発(株))

■ 国に対する要望

- 国のリーダーシップ、国による支援と条件整備
- **二国間原子力協力協定の早期締結**



ヨルダンの原子力 開発計画について

■ ヨルダン・ハシェミット王国

- 国土:8.9万km²(日本の4分の1)、人口:600万人、イスラム教
- イスラエル、シリア、イラク、サウジアラビアと隣接

■ エネルギー事情

- 化石燃料資源(石油、石炭、ガス)に乏しい、慢性的な水資源不足
- **ウラン資源**を有する(世界第11位)、仏・アレバ社との合弁でウラン探鉱会社設立
- 電力需要:250万kw、発電電力量:120億kwh、一人当たり年間電力消費量:2000kwh
- 電力需要の伸びへの対応と低炭素化に向けて原子力の開発を決定(2007)
- **100万kw級1基**建設予定(2019年運転開始)、将来1基増設も検討

■ 日本への期待

- **日本の技術力と経験に強い期待感、人材育成に積極的な取り組み**
- 特に、**耐震設計技術、品質管理システム**などに関心
- 国際入札で受注先決定の予定、現在、日・仏連合、ロシア、カナダの3者が競合
- 仏・アレバ社と日本・三菱重工が共同開発した改良型加圧水炉(ATMEA1)を提案
ATMEA1:安全性を強化したいわゆる第III+世代の最新型軽水炉、出力110万kw級